

発見! 全国の **ほ**っとポイント

“何でも診る”を掲げる 地域の頼れるクリニック

東京都武蔵村山市 武蔵村山さいとうクリニック



武蔵村山さいとうクリニック院長 齊藤直人先生

さいとうなほと 1997年埼玉医科大学医学部卒業、2001年同大学大学院博士課程修了。埼玉医科大学病院第一外科、埼玉医科大学消化器一般外科チーフレジデントなどを経て、08年武蔵村山さいとうクリニックを開院。日本外科学会外科専門医など。医学博士。

家族を思つように 責任と愛情ある診療を

東京都多摩地域の北部に位置する武蔵村山さいとうクリニックは、地域に根ざしたジェネラル(総合)クリニックとして開業10年目を迎えました。内科、外科、小児科リハビリテーション科をはじめと、様々な症状に可能な限り対応するなど、同クリニックの診療は多岐にわたります。併せて、交通の便が悪いとされる地域の課題を受



※クリニックホームページより



上: 総合格闘技に造詣の深い齊藤先生。リングドクターという概念が格闘技界になかった20年以上前から、その草分けとしても活躍してきた。下: 格闘技界のセカンドキャリア形成のため、選手を熱心に雇用している。

け、訪問診療や3台の車を使った巡回にも積極的に取り組んでいる他、市民向けの健康講座も定期開催するなど、武蔵村山市の医療を支える大きな役割を担っています。院長の齊藤直人先生は、外科医である前に医師であるという考えから、「専門がないことが専門」とも話します。クリニックが掲げる「何でも診る」という理念にも、その考えが表れています。

「直接的な治療以外にも、例えば口頭で相談に乗ったり、他院への紹介状を書くのも、全てが診る。ことだと思えます。このクリニックを選んでくれた患者さんに対して、できる限りのことを最大限やる。それが『何でも診る』に込められた思いです」と齊藤先生。「全ての患者さんに対して、父であり母であり家族だと思つて接する」という恩師からの教えと共に、強い責任感と愛情をもつて患者さんのケアに当たっています。

より質の高い医療を 実現するために

日々、幅広い年齢層の患者さんが大勢訪れる同クリニック。今春には新棟が完成し、より多くの患者さんが快適に通院できる体制が整います。現在は行っていない日曜日の診療も、新棟の完成を機に、午前中だけでも始めていきたと考えているそうです。「医師には、人の命を預かるという特別な責任があります。新棟の増築も日曜診療も、全ては患者さんのためです。寝ても覚めても、とにかくできることを全身全霊でやる。そうした強い思いで取り組んでいます」。

10年の節目を迎え、今後の展望について、熱意を込めて話してくださいました齊藤先生。よりよい医療を地域に提供するため、これからも全力で走り続けます。



新棟の完成によって、スタッフの働きやすさも向上する。

舩元清香、村上未知=撮影 川上達也(本誌)=取材文